

1. 基本情報

渡航先国名・地域名 (☆)	カナダ
滞在都市 (☆)	バンクーバー
留学先大学等名 (☆)	ブリティッシュコロンビア大学
留学先での所属学部/研究科 (☆)	ソウダービジネススクール
留学先で主に使用した言語	英語
渡航先への入国日 (☆)	2019年 8月 28日
渡航先からの出国日 (☆)	2019年 12月 24日
渡航先国での滞在期間 (☆)	118日
同伴者の有無・続柄・年齢等	無
その他	

2. 留学先の大学に関する情報

2. 1 授業に関する情報

履修科目名称 履修期間 授業時間 (○分×△回) 授業形態 (講義・セミナー) 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間 (○分×△回) 授業形態 (講義・セミナー) 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間 (○分×△回) 授業形態 (講義・セミナー) 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間 (○分×△回) 授業形態 (講義・セミナー) 取得単位数	

大阪大学経済学研究科/経済学部
部局間協定校派遣生の海外留学体験談

履修科目名称 履修期間 授業時間（○分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間（○分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間（○分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間（○分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間（○分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間（○分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間（○分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
留学生（日本人）の割合	
成績評価の方法（試験・課題の 数や分量等）	
履修科目の制限等（あれば）	
（英語圏以外の場合） 英語の使用頻度、英語での授業 科目の充実度等について	

語学に関するサポート(特別授業、チューター、エッセイライティングに関するサポート等)	特になし
授業内での留学生に対するサポート等	特になし
その他	

2. 2 福利厚生に関する情報

大学内での福利厚生施設(生協・購買・食堂)について	全てにおいて広い。価格は高め。
図書館について	広いが学生数が多いので混んでいる
保健センター等の有無	UBC 内に病院があった。
クラブ・サークル等について	数え切れないほどのクラブ・サークルがあり、アメフトやアイスホッケーが人気だった。
留学生へのサポート	留学生対象のオフィスがあった。
オリエンテーション等学校主催の行事について	学期の最初の一週間
現地の学生との交流について	言語交換プログラムでお互いの言語を教え合った。
他の留学生との交流について	主にイベントで親交を深めた。
学外での活動について(地域コミュニティ活動等)	体育館でバスケットボールやバドミントン等のスポーツ交流が定期的に行われ、誰でも参加可能だった。
長期休暇中の過ごし方	
その他	

3. ビザ・入国・渡航直後の手続きに関する情報

ビザの種類(☆)	eTA(簡易ビザ)
ビザの取得手続きについて(申請方法、申請から取得までの所要期間等)(☆)	個人情報を入力してインターネット上で申請、申請後一週間以内で取得
利用航空会社	デルタ航空、JAL
入国の際の現地空港名	バンクーバー国際空港
空港から滞在先への移動について(交通手段や所要時間)	バスで移動(30分)
入国審査について(提示した書類、審査官からの質問等)	交換留学生であると証明できるもの(study permit 等)
渡航後の手続き(在留届の提出、外国人登録等)	

その他	
4. 金銭に関する情報	
奨学金の受給	○有 無
奨学金名	Jasso
奨学金月額受給額（円）	8万円
入国時に用意した金額	10万円
クレジットカードについて（カード会社名・日常の利便性）	デビットカードを使用した。
留学中に利用した銀行名	三菱UFJ銀行
現地での銀行口座開設について（開設の有無・手続き等）	無し
デビットカードの使用について	問題なく利用できた。
日本からの送金方法について	
1ヶ月の生活費（目安）	10万円
その他	

5. 暮らしに関する情報

5. 1 住居に関する情報

住居の種類（学生寮（一人部屋・二人部屋）・アパート等）	シェアハウス
家賃	490ドル/月
住居を探した方法・時期	留学直前(8月末)に Jpcanada で探した。
荷物の運搬方法 （ハンドキャリー、国際宅配便（会社名、プランも）等）	
その他	

5. 2 食生活についての情報

普段の食事（自炊・食事つき学生寮等）	自炊と外食が半々くらい。日本食が以外と簡単に手に入った。
1ヶ月の食費	5~6万円
その他	

5. 3 その他日常生活に関する情報

電話について	LINE 電話を使っていた。
インターネットについて（Wi-Fi 環境等）	大学内は繋がりがやすいときと繋がりにくいときがあった。外では現地の sim カードを購入してインターネットを利用していた。滞在先のアパートでは wi-fi を利用
コンピュータについて	

郵便について	
交通機関について	バスがメイン。スカイトレインや地下鉄もあって長距離の移動に便利。
治安について	日本と変わらないくらい安全だった。チャイナタウン周辺はやや治安が悪く感じた。
保険について	大学の保険(IMED)に入った。留学前に加入する。
医療機関・薬について	風邪を何度か引いたが、日本から持ってきた風邪薬で治した。
気候と服装について	夏期(4月~9月上旬まで)と雨季(9月~3月)に分かれる。行った時期が雨季だったので雨が多かった。しかし、緯度ほど気温は低くなく、日本と同じような服装で過ごせた。
普段の買い物について	家の近くのスーパーで必要な物(食べ物や水)のみを買った。
娯楽・行事について	よく旅行に行った、また楽しそうな行事には参加するようにした。
日本語の使用について	特に日本語を話さないという制限はしていなかった。
日本から持参して特に役立ったもの/持参したら良かったもの	日本食(インスタントの味噌汁など)、風邪薬
留学前にしておいて良かったこと/しておけば良かったこと	もっと英語を磨いておくべきだった。
その他	

6. 就職活動に関する情報

留学前の就職活動について(セミナー参加、自己分析、業界研究、就活サイト登録等)	就活サイトに登録したのみでそれ以外は特に何もしていなかった。
留学中の就職活動について(海外からの情報収集、企業へのコンタクト、インターシップ等)	特になし

7. 語学の学習方法について

留学前に準備したこと、語学能力試験対策等	IELTSの対策を2ヶ月行った。
留学中の学習方法、工夫したこと等	バランスよく勉強することを心がけた

留学後にどれぐらい語学力が伸びたか（主観的な実感や具体的なスコア等）	英語に対する抵抗は減ったが、実際に英語圏に行ったことでまだまだ足りないと感じかされた。
------------------------------------	---------------------------------------------

8. その他

留学して得られたこと	全ての経験
留学中に困ったこと	学習、体調管理
留学前/留学中に参考になったウェブサイト等	

9. 留学体験談・エッセイ（様式任意）

留学を決めた理由、現地で履修した授業およびその感想、楽しかったこと、大変だったこと、これから留学を考えている後輩へのメッセージ等を1～2ページ（様式任意）で記載してください。また、留学中に撮影した写真数枚（本人も映っているもの）も合わせて提出してください（国際交流室のHPやNewsletterに掲載させていただく可能性があります）。

・留学を決めた理由

私がUBCに留学することを決めたのは大学二年の頃でした。友人がカリフォルニア大学に交換留学に行ったことで留学が身近に感じられ、自分も留学してみたいと思うようになりました。交換留学は語学留学と比べて費用が低いということも決め手の一つでした。軽い気持ちで志願した交換留学でしたが、準備が大変で、IELTSで高得点を取ること、また、留学が決まってから提出書類や、UBCの学生アカウントを作ることや、アパートを探すのに苦労しました。国際交流室の後藤さんには何度も相談に乗って頂き、助かりました。

・現地での生活

8月末にカナダに渡りましたが、最初は見ること経験すること全てが新しいことばかりでした。様々な人種の人々が住んでいて、英語以外の言語が当たり前のように飛び交っていて、自分の持っていたカナダのイメージとの違いに驚きました。英語もそれぞれが多かれ少なかれ訛りを持っていて、日本の英語のリスニング音源で耳を慣らしていた僕は、聞き取るのに苦労しました。学校が始まってからも、講義で教授が何を話しているのかが分からなくなる時がありました。講義自体は実学的なものが多く、Statisticsでは、現実の様々な例を用いて数式を説明したり、Entrepreneurshipでは実際に自分でビジネスモデルを考えて作ってみたりと、社会との繋がりを意識した講義が多かったように感じます。しかし、勉強量も多く、夜遅くまで起きて勉強する事がしばしばありました。周りの学生のやる気も高く、夜11時になっても、図書館の自習室で勉強をしている学生が大勢いました。

・楽しかったこと、大変だったこと

様々な違いに触れることはとても良い経験になりました。人の行動ひとつから国の文化まで、日本とは異なることばかりでした。日本では当たり前のことがカナダではそうではな

いと知ること、視野が広がった気がします。また、ECS という留学生の交流イベントによく参加していました。その中でもロッキー山脈のツアーは素晴らしかったです。色々な国から来た学生と大自然の中で親睦を深める経験は言葉には表せないものがありました。それ以外にも、英語学習のために Tandem という言語交換プログラムに参加していました。これは僕が誰かとパートナーとなり、お互いが自分の得意な言語を相手に教え、自分が学びたい言語をパートナーの人に教えてもらうというものです。僕はそこでカナダ人の男子学生とパートナーになりました。よく気が合い、遊びに出かけるのが楽しかったです。苦労したことはやはり勉強です。英語の勉強と学部の復習を両立させるのは本当に大変でした。もっと渡航前に英語を勉強しておけばよかったと痛感しました。

・最後に

今回の留学を通して、自分が多くの人に支えられているのだと実感しました。渡航前に色々とお気を付けて頂いた後藤さん、阪大と UBC の橋渡しをして頂いた経済学部教務の皆さん、留学仲間、家族。皆さんの協力無しにはこのような貴重な経験をする事はできませんでした。本当にありがとうございました。